

名張警察署協議会議事録

令和5年度第1回名張警察署協議会	
日時 場所	令和5年7月4日(火) 午前10時30分～午後0時 名張警察署3階会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会 志田幸雄委員</p> <p>2 警察署協議会 7名 伊集基之委員、上迫直生委員、久原由美子委員、 田川敦子委員、富山玲子委員、中川智生委員、 山口伴尚委員</p> <p>3 警察署 9名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 公安委員会委員挨拶</p> <p>2 警察署長挨拶</p> <p>3 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介</p> <p>4 会長、副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に伊集委員を選出した。 会長が田川委員を副会長に指名した。</p> <p>5 管内概況説明(警察署長)</p> <p>(1) 名張警察署の体制</p> <p>(2) 各課の業務内容</p> <p>(3) 令和5年上半期の管内治安情勢</p> <p>(4) 名張警察署の課題</p> <p>ア 飲酒運転の急増</p> <p>イ 行方不明者対策</p> <p>(7) 新聞販売店との協定締結</p> <p>(4) 関係機関との連携</p> <p>ウ 庁舎の外壁崩落</p> <p>6 協議内容</p> <p>(1) 犯罪の発生状況と防犯活動について</p> <p><委員> 名張市では、防犯ボランティア団体による防犯パトロール活動が活発に行われている。 活動の効果が知りたいので、犯罪の発生状況の推移について教えていただきたい。</p> <p>【署長】 刑法犯認知件数は、平成14年をピークに減少傾向が続き、現在はピーク時の約3分の1にまで減少している。 その背景には、防犯ボランティア団体の活動や、防犯カメラの普及などが考えられる。</p>	

外国人犯罪の国籍に関しては、時代と共に変化しており、その背景には出入国管理難民認定法等の改正も少なからず影響していると考えられる。

犯行に至るまでの経緯については、就労目的で来日するも、何らかの理由で稼働先を離れた後に犯罪グループに加わり、犯罪を敢行するケースが多い。

また、先日の法改正では、新たに農業と漁業の部門に外国人を受け入れることが決定されたため、今後、外国人の犯罪情勢に変化が生じると予想される。

このような情勢を踏まえ、外国人等との共生社会の実現へ向けた取組として、外国人労働者の子供に対する教育も重要と考える。

教育機関において、母国語による教育環境を構築することのほか、外国語による案内標識の設置など、法改正を考慮した外国人の受入体制の整備を行政に働きかける必要があると考える。

(2) 行方不明者の捜索に係る協定締結について

<委員> 先日、行方不明者の捜索について名張警察署と市内の新聞販売店が協定を結び、行方不明事案が発生した際は、名張署から行方不明者に関する情報をメールやファクシミリで送付を受け、捜索に協力することになった。

販売店では、社員に対し、情報に基づき、新聞配達時に酷似する人がいれば、名張署に通報するように指導している。

(3) 過疎地対策について

<委員> 私が住んでいる伊賀市高尾地区のような過疎地域では、人が少なく、人口が多い地区と比較して、子供の見守り活動が十分にできないのが現状である。

通学にスクールバスや路線バスを使う子供もいるので、様々な分野で地域格差が生じている。

今後の協議会で過疎地対策について話し合えればと考えている。

(4) 団地内への防犯カメラの設置について

<委員> 数年前、つつじが丘地区での行方不明者の捜索を契機として、団地内に防犯カメラが設置された。

防犯カメラが設置されたことにより、安心して生活できるようになった。

(5) 見守り活動の強化について

<委員> 津市内では、児童虐待により児童が死亡する事案が発生している。

また、ストーカーやDV事案が後を絶たず、被害者等を守る取組を強化してほしいと考えている。

(6) 関係機関との連携及び活動支援について

<委員> 私は、児童養護施設を運営しているため、伊賀少年サポートセンターと連絡を取る機会が多い。

サポートセンターと児童相談所の情報共有は非常にスムーズに行われるものの、その後の対応が期待するように進まない現状にあると感じている。

各地区のまちづくり協議会をはじめとした各団体等に対して積極的に情報発信し、その活動を支援していただきたいと考えている。

(7) 信号機のLED化及び道路標識の見直しについて

<委員> 昨年、国道165号での車の信号無視について取締りを要望したところ、対策を講じてもらったと聞いている。

また、市内の信号機の表示灯が見にくいという住民からの意見もあるので、早期に信号機をLED化してほしい。

<委員> 通学時間帯等にパトロールをしてもらい、感謝している。

3年程前、三重県は、信号機のない横断歩道で多くの車が停止しないことが話題になったが、今では一定の改善が見られる。

道路標識や道路標示の劣化が非常に気になり、中には視認が困難な箇所もあるので、対応を前向きに検討してほしい。

(8) 宅配業者を騙る迷惑メールについて

<委員> 荷物の宅配を装う迷惑メールがよく届く。

メールを開くことなく放置しているが、何か対策はあるか。

【生活安全課長】 迷惑メールに関しては、ウイルス対策ソフトを導入したり、迷惑メールフィルター設定をしてセキュリティを高めると効果的である。

また、迷惑メールに関する知識を持って対応することが重要である。

【署長】 迷惑メールに関しては、多くが海外サーバを経由しているほか、一般市民のパソコンがウイルス感染等によって踏み台として使われている場合があり、送信者にたどり着くことが困難である。

被害を防ぐためにも、メールに記載されているURLには絶対にアクセスしないでほしい。

(9) 防犯講話の申込方法について

<委員> 警察では防犯講話を行っていると聞いたが、どのように申し込めば良いか。

【生活安全課長】 防犯講話の申し込みは、生活安全課に連絡をしていただき、日程調整等を図った上で実施させていただく。

(10) 名張川納涼花火大会への対応について

<委員> 今月末に花火大会が予定されているが、駐車対策や迷い人、暴走族等の対策について教えてほしい。

【地域課長】 7月29日に予定されている花火大会については、昨年よりも警備体制を強化して対応する。

【署長】 今年は、コロナ対策として行われていた各種制限が解除されたため、昨年よりも人出が増加すると見込まれている。

昨年、見物客用の駐車場不足により、渋滞が発生したことを踏まえて、今年は、新たに名張小学校を駐車場として開放してもらうことになった。

それでもある程度の渋滞は発生すると考えられるため、配置人員を増強して対策する予定である。

(11) 長野県で発生した警察官の殉職事案について

<委員> 長野県で発生した事件については、私自身も非常に衝撃を受けた。

危機感を共有する意味で、事件についてももう少し状況を教えてもらいたい。

【副署長】 事件内容については、報道発表されている内容しかお伝えすることができない。

現場対応をする側としては、第一報の内容が重要と考える。

銃砲や刃物等の危険物を所持しているという事前情報があれば、相手がそれらを使用して抵抗する可能性を考慮して指示をしている。

今回の事案を受けて、常に受傷事故防止を意識した現場対応が求められていることを再認識しているところである。

7 名張警察署管内の速度取締りの策定・公表（交通課長）

8 警察署長挨拶

9 公安委員会委員講評

名張市は、まちづくり協議会や社会福祉協議会等の活動が先進的なものであると聞いている。

今後、地域共生社会の実現に向けて、これらの活動を更に発展させることが重要であると感じている。

備 考	報道機関 3 社 3 名
-----	--------------